

図1 位置図

(2事業概要①所在地)

西成区北津守4丁目～西成区南津守2丁目

対象事業 位置図

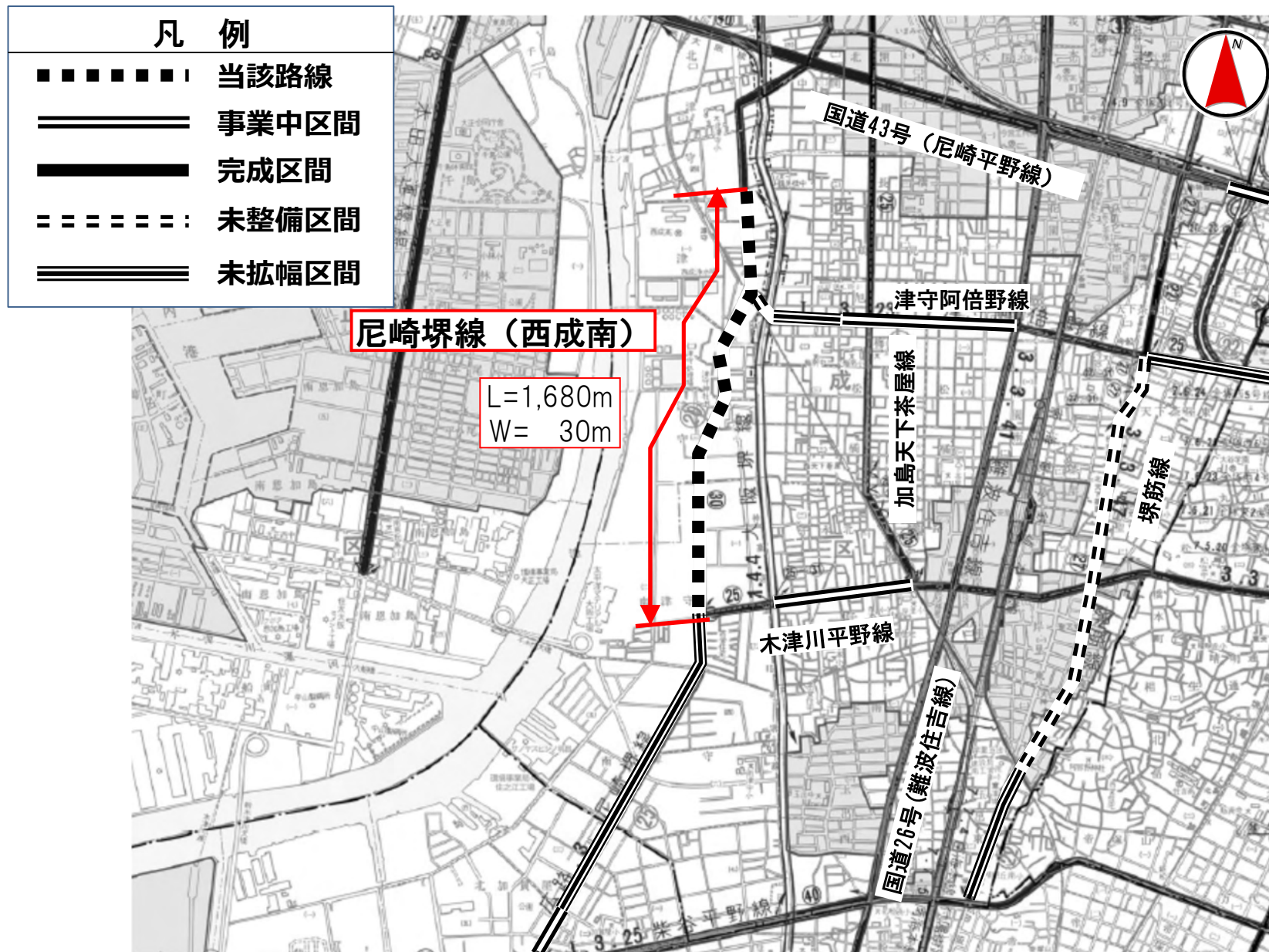


図2 費用便益分析の概要

(3事業の必要性の視点 ③費用便益分析)

便益 (単位: 億円)

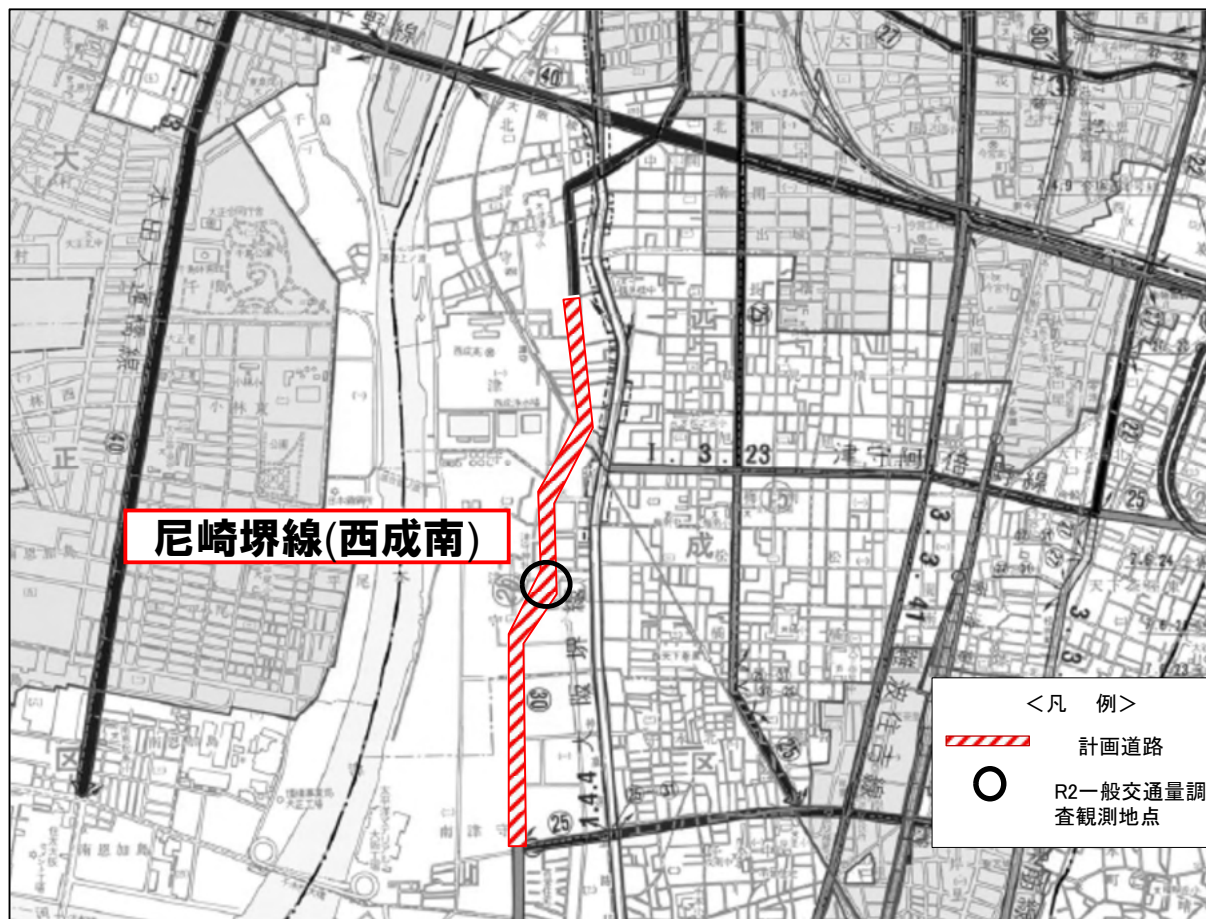
走行時間短縮	28.3
走行経費減少	1.2
交通事故減少	0.0
歩行の安全性 ・快適性の向上	3.0
合計 (初年便益)	32.5
便益総額の 現在価値	475.2

費用 (単位: 億円)

事業費 (単純合計)	136.0
維持管理費 (単純合計)	9.8
投資総額の 現在価値	194.5

社会費用便益比
(B/C)

2.44



注) 小数第二位を四捨五入しているため、合計値が合致しない場合がある。

図一 尼崎堺線(西成南)

図3 進捗状況

(4 事業の実現見通しの視点 ②事業規模)

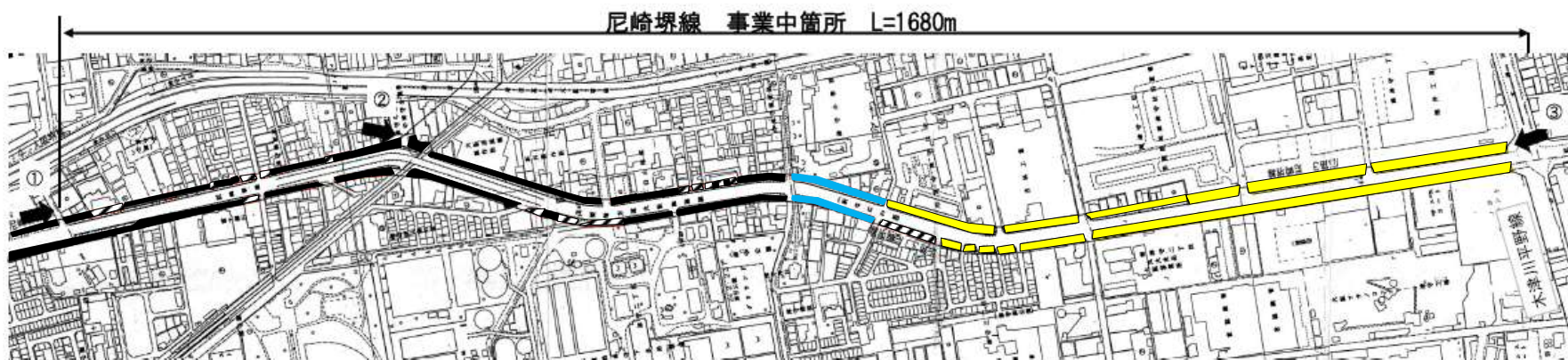
①



②



③



凡 例	
	用地取得済箇所
	整備済箇所
	残用地取得物件
	施工中箇所

用地取得率: 89% (面積ベース)
 工事進捗率: 13% (面積ベース)

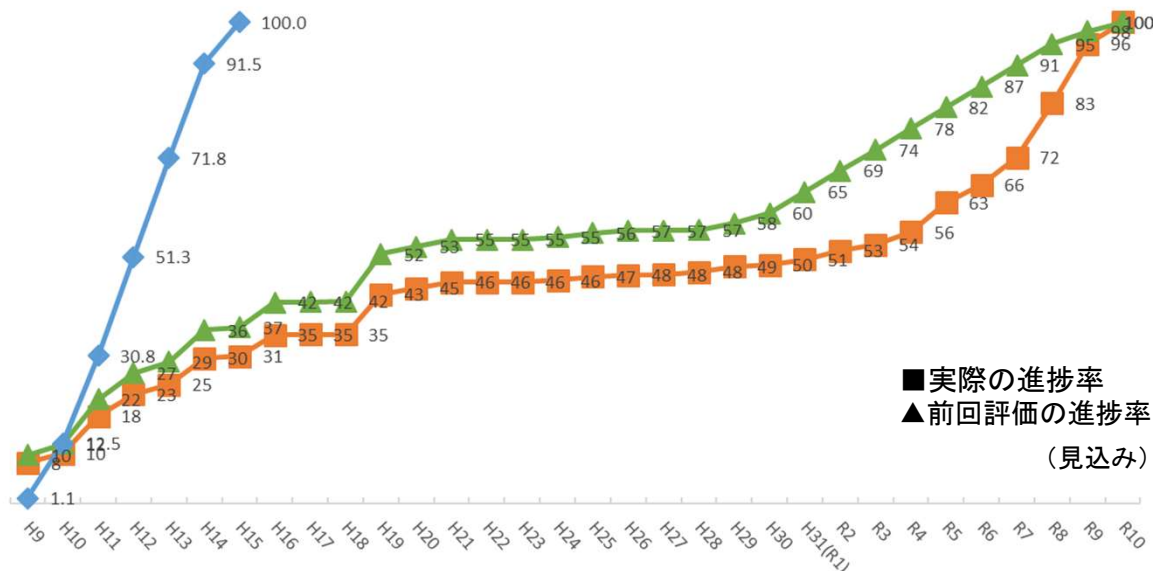
事業費ベース進捗率: 53%

図4 進捗率の推移

(4 事業の実現見通しの視点 ③総事業費)

進捗率の推移(単位:%)

事業採択時の
想定進捗率



残事業の内容

- ・用地取得26件(1,250㎡)
- ・道路工事(延長1455m、面積43,633㎡)
- ・残事業費約65億円

今後のスケジュール(見込み)

- ・令和10年度 事業完了予定

事業が遅延した原因とその状況

- ・財政状況が非常に厳しいため、事業中路線においては、選択と集中の観点から、重点的に投資を行う路線を選定し、事業を進めている。本路線は重点的に投資を行う路線に位置付けておらず予算の範囲内で着実に事業を実施するため、長期化していた。
- ・用地取得において、売買に難色を示されていることなどで、用地買収が難航し、事業が長期化していた。

対応と解消の目途及びその根拠

- ・重点的に予算を確保しながら、残る用地取得と道路整備を進め、令和10年度での事業完了をめざす。
- ・用地買収については、個別課題の解消に向け精力的に取り組むとともに、事業完了に向け計画的な取得を行う。